

[成果情報名] 有色バレイシヨ新配付系統「西海31号」

[要約] バレイシヨ「西海31号」は、アントシアニンを含む赤皮・赤肉系統で、でん粉価が高くてチップス適性がある。春作・秋作とも出芽が早く、個数型で、外観が良く、春作では多収である。

[キ - ワ - ド] バレイシヨ、西海31号、暖地二期作栽培、アントシアニン、赤肉、
高でん粉

[担当] 総合農林試験場・愛野馬鈴薯支場・育種栽培科

[連絡先] 電話0957-36-0043、電子メールnakaot@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] いも類

[分類] 指導

[背景・ねらい]

バレイシヨは冷凍等の安価な輸入ものを使った加工食品原料用の需要が増加し、国内産の消費は減少傾向にある。また、健康食品ブームなど、消費者の機能性への関心が高まっている。そこで、抗インフルエンザ活性機能などを有するアントシアニンを含み、肉色が赤くて新規需要が期待される暖地二期作栽培に向く有色ばれいしょの品種育成を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 「西海31号」は、1999年秋作に、高でん粉で目が浅い「96016-8」を母、赤皮赤肉で大いもの「長系115号」を父として交配し、翌年春作に播種し、育成選抜してきた系統である。
2. 休眠期間が短く、出芽期は「デジマ」より春作、秋作とも早い。茎長は「デジマ」より短く、茎数は春作では多く、熟性は中早生である(表1)。
3. 春作・秋作とも株当たりいも数は多く、上いも1個重は小さい個数型である。収量は春作では「デジマ」より多収となるが、秋作では低い(表2)。
4. 塊茎の形は楕円、皮色は赤色、表皮は粗いが、目が浅く、形崩れが少なく、外観はよい(表3)。肉色は赤色でやや淡く、食味、肉質とも中である(表4)。
5. でん粉価は「デジマ」より2~4%高く(表2)、チップスの評価は外観、食味ともチップス専用品種「トヨシロ」と同じ中である(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 地域適応性試験等に供試し、生産現場での評価に活用する。
2. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はなく、他の病害にも概ね弱いので、適期防除が必要である。

[具体的データ]

表1 生育特性

品種系統名	出芽期(日)		草型		茎長(cm)		茎数(本/株)		熟性
	春作	秋作	春作	秋作	春作	秋作	春作	秋作	
西海31号	-11	-4	直	中	56	29	2.5	2.1	中早生
デジマ	0	0	やや直	中	66	37	1.2	2.2	晩生
ニシユタカ	0	2	直	やや直	52	32	1.5	1.6	中晩生～晩生

注) 出芽期はデジマとの比較日数、- は早く、+ は遅い、2002～03年の平均

表2 収量特性

作型	品種系統名	上いも数 (個/株)	上いも 1個重(g)	上いも重		規格別割合(%)				でん粉価 (%)
				(kg/a)	デジマ比%	2L	L	M	S	
春作	西海31号	7.2	100	436	(124)	36	36	22	6	13.6
	デジマ	3.8	147	341	(100)	70	22	8	2	9.9
	ニシユタカ	5.2	141	449	(132)	67	24	7	2	10.4
秋作	西海31号	3.6	92	203	(85)	5	28	43	24	14.2
	デジマ	3	136	246	(100)	38	38	18	6	12.3
	ニシユタカ	2.8	131	200	(82)	36	33	24	8	10.8

注) 2002～03年の平均値

表3 塊茎特性

品種系統名	いも着 の疎密	皮色	いも型	目の 深浅	表皮の 粗滑	障害等	外観 評価
西海31号	やや疎	赤	楕円	浅	やや粗		やや良
デジマ	やや疎	白黄	扁短楕円	中～やや浅	やや滑	SG++, Cr+	中
ニシユタカ	中	白黄	扁円	中～やや浅	中		中

注) Cr: 裂開、SG: 二次生長

表4 品質特性

品種系統名	肉色	肉質	食味	煮崩れ	色 価 (u/g)		チップス評価	
					春作	秋作	外観	食味
西海31号	赤	中	中	無	3.97	6.48	中	中
デジマ	黄白	中	やや良	少	-	-	否	否
ニシユタカ	黄白	中	中	微	-	-	-	-
トヨシロ	白	やや粉	-	-	-	-	中	中

注) チップスは北海道農業研究センターの評価



写真1 西海31号の塊茎



写真2 西海31号のチップス
(左: 西海31号。右: トヨシロ)

[その他]

研究課題名 : 暖地有色ジャガイモ品種の育成

予算区分 : 国庫(ブランドニッポン)

研究期間 : 1999～2005年度

研究担当者 : 中尾 敬、向島信洋、森 一幸、石橋祐二